

地域連携推進会議議事録

事業所名	つつじヶ丘はなぞの		
サービス種別	施設入所 生活介護		
開催日時	令和 7 年 10 月 23 日(木)		
開催場所	つつじヶ丘学園 2F 会議室		
出席者	構成員	人数	備考（肩書や所属等）
	事業所職員	2	はなぞの施設長 はなぞのサビ管
	入居者	1	はなぞの施設利用者
	入居者ご家族	1	はなぞの入居者保護者
	地域の関係者	4	地域連携推進委員 1 名 民生委員 3 名
	福祉の関係者		
	福祉に知見を有する方	1	つつじヶ丘相談支援事業所相談支援員
	経営に知見を有する方	2	法人理事長 法人統括
	市町村担当者	2	桐生市新里支所市民生活課福祉係 2 名
議題及び協議 内容・意見等	<p>1. 施設見学</p> <p>2. 法人理念 はなぞのサビ管</p> <p>3. 開会挨拶 法人理事長 本日はお忙しい中参加していただき、ありがとうございます。広済会の理念を斉唱させていただきましたが、①福祉サービスの質②福祉人材の育成・働きやすい環境作り③地域のニーズに応える運営の 3 本柱を大切にしています。その為には人材の確保も重要なものになります。地域でも働ける方・ご縁のある方いらっしゃいましたらご紹介していただけたらと思っております。今後ともご協力お願いします。</p> <p>統括 今年度よりこの地域連携推進会議が義務付けられました。施設はどうしても閉鎖的な傾向になってしまう為、この機会に交流を深め、実際にどのような方が住んでいてどのような話をしてと実際に見ていただき、率直な意見をいただき、施設でも取り入れていきたいと考え</p>		

	<p>ています。</p> <p>4. 出席者の紹介</p> <p>桐生市新里支所市民生活課福祉係 係長</p> <p>桐生市新里支所市民生活課福祉係 職員</p> <p>民生委員 1</p> <p>民生委員 2</p> <p>民生委員 3</p> <p>地域連携推進委員</p> <p>広済会 理事長</p> <p>広済会 統括</p> <p>施設利用者</p> <p>利用者保護者</p> <p>つつじヶ丘相談支援事業所 管理者</p> <p>はなぞの 施設長</p> <p>はなぞの サビ管</p> <p>はなぞの利用者より</p> <p>Q1.はなぞのでの生活は楽しいですか？</p> <p>A1.秋祭り。楽しかった</p> <p>Q2.はなぞのでやりたいことはありますか？</p> <p>A2.鉄道です。(電車に乗りたい)太田市に行きたい。</p> <p>Q3.学生のころからドリルなどを続けて勉強しています。算数と国語はどちらが好きですか？</p> <p>A3.算数。</p> <p>Q4.なにか希望がありますか？</p> <p>A4.僕はご飯たべたい。掃除を頑張りたい。お願いします。</p> <p>以上ではなぞの利用者様退室</p> <p>5. 地域連携推進会議の趣旨説明</p> <p>地域連携推進会議は障がいのある方が地域の中で安心して暮らしていけるようにという事で、施設と地域の方々が協力して話していく場だと考えています。入所施設はどうしても閉鎖的になってしまうので、施設の中を見学する機会が無かったのですが、お部屋の様子や施設の中の様子、職員の態度等私たちが気付かない所を、第一印象でも良いので「このようにしたほうが良い」など色々な意見をいただきながら進めていきたいと思います。はなぞのの利用者様は対人関係が苦手な</p>
--	--

	<p>方が多く、少しずつ関わりができるように練習しているところでもあります。地域で近くのスーパーなどでお買い物をしていて同じ場所を行ったり来たりしている、ドアで止まってしまっているなどがあるかもしれませんが、利用者様と支援員で一生懸命練習している所だと思って気軽に話しかけてもらえたらと思います。ご協力お願いします。</p> <p>6. はなぞの事業所説明</p> <p>パワーポイントにて事業所紹介・説明を行う。</p> <p>7. 意見、感想、質問、要望</p> <p>Q：夜の職員の体制はどのようなになっているのでしょうか。</p> <p>A：18：30～6：30 まで二人体制で支援をしています。</p> <p>Q：施設を見学しましたが、ベッドは使わないのでしょうか？</p> <p>A：畳ではない部屋はベッドを置いてあったのですが、現在ベッドをベッドだと思わずに踏み台・ジャンプをしてしまう利用者様がいて、壊してしまいました。使っている利用者様やジャンプしてしまう利用者様の安全等考慮した結果、はなぞでは布団を使っています。</p> <p>Q：利用者様の支援は大変だと思いますが、その中でも何が一番大変ですか？</p> <p>A：入所されている利用者様の多くは、言葉による意思表示が難しいため、支援者がその意図を汲み取ることが非常に重要であり、同時に困難でもあります。些細なことでも意図が伝わらないことで、利用者様が不安や怒りを感じる場合があります。</p> <p>例えば、物の位置がいつもと少し違うだけで落ち着かなくなる方もいらっしゃいます。そうした場合、ほんの少し位置を調整するだけで安心されることもあり、「もっと早く気づいてあげられたらよかった」と感じる場面もあります。</p> <p>また、当施設では個室ではなく、2～3 人部屋で生活されているため、利用者様同士の動線にも配慮が必要です。中には「右側を歩きたい方」「左側を歩きたい方」「真ん中を歩きたい方」など、それぞれにこだわりがあり、職員が衝突を避けるように整理しながら支援しています。利用者様同士で自然なルールが形成されるまでは、職員による調整が必要であり、支援の難しさを感じる場面の一つです。</p> <p>Q：面会はどのようにされているのでしょうか？</p> <p>A：面会・外出・外泊の希望があれば前もって連絡をいただければ基</p>
--	---

	<p>本対応をしています。中には施設の生活に慣れていただく為に数か月面会を控えていただく場合もありました。その方も施設での生活に慣れた後は保護者の希望で外出や面会をしてもらっています。</p> <p>Q：施設の中はとても綺麗でした。飾り物などが無いのですが何か飾ったりはしないのでしょうか？第一印象が色殺風景に感じました。</p> <p>A：はなぞのでは飾ったものを気にしてしまい破く・トイレに流す・食べてしまう等の障害特性を持っている方が複数名おり、施設内にはゴミ箱や飾り物などは行っていません。飾り物や殺風景である為、明るい施設を今後の目標にしたいと思っています。</p> <p>Q：自立に向けた訓練をしていると事業所紹介でもありましたがどの様な成果がありますか？</p> <p>A：事業所としての大きな目標は、利用者様が「はなぞの」から他の事業所へ移行し、仕事に取り組めるようになることです。ただし、そこに至るまでには一定の時間を要するため、段階的な支援が必要です。</p> <p>入所施設は終身利用を前提とした場ではなく、あくまで通過点と捉えています。そのため、将来的には地域での生活やグループホームの利用などを目標に据え、利用者様がより自立した生活を送れるよう支援を行っています。</p> <p>Q：日中活動やウォーキングはどのくらいに頻度で行っていますか？</p> <p>A：平日の活動は計画で立てています。しかしウォーキング等外に出るものは最近ですと気温も高く室内で自立課題を行うという日が多かったです。また毎日全員同じ活動をするという事も難しいので、グループに分かれて実施をしています。</p> <p>福祉係：感想になります。初めて施設見学をさせていただきましたが、いたるところに利用者様が集中できるような工夫をされていることを改めて確認させていただきました。食事のパーテーションや入浴の絵カードなどの工夫は勉強になりました。</p> <p>利用者様も秋祭りと話していましたが、そういった行事を大切にしている事がわかりました。支所の職員も秋祭りに行った方がおり、とても盛況であったと話されていました。</p>
--	--

	<p>8. 議題「地域共生～はなぞのでの活動について」</p> <p>現在のはなぞのでは地域共生に向けて何ができるのか考えながら活動に取り組んでいます。</p> <p>はなぞのでは SDG s の取り組みも兼ねてペットボトルキャップを集めて洗浄し回収している場所に持っていく活動をしています。今のところ法人内の事業所に発報し収集にご協力いただいている形です。</p> <p>他には地域清掃に取り組んでいます。利用者様数名で施設周辺を歩きゴミを拾ってゴミ袋に入れる活動をしています。法人で襷を作ったのですが、利用者様も喜んで付けてくれています。集団でゴミ拾いなど参加できない利用者様も少しの時間だけでも職員と対一で園外に行き、ゴミ袋を持ちながら活動に参加していただいています。</p> <p>新しく入所された利用者様もこういった行動を繰り返し行う事で、集団での行動に慣れていき出来るよう練習をしています。</p> <p>相談支援員：はなぞのは若い方も多いので訓練を繰り返し、いずれはグループホームに行けるような流れが出来ると良いです。その中でトライ＆エラーを繰り返し、一度出たけどまた戻ってきて、また練習してを繰り返す事を法人内でも出来ると、入所施設に入って終わりではなく、次のステージに行くという目的があって良いと感じました。</p> <p>9. 議題に関して意見・感想・質問・要望</p> <p>Q：キャップを集めていたが回収する場所が無い為、広済会に持ってきても良いのか</p> <p>A：ご協力していただけるのであればお願いします。</p> <p>Q：このような活動をしていることは地域で暮らしていても知らなかった。もっと外部に発報していった方が良いのではないか。</p> <p>A：ご意見ありがとうございます。もっと活動内容を知っていただく為に工夫しながら伝えていきたいと思います。</p> <p>10. 閉会の挨拶</p> <p>今回ははなぞのの施設内や活動の内容を知っていただく良い機会になったかと思います。また沢山のご意見や感想を聞くことが出来、それを私たちのモチベーションに繋げていきたいと思います。本日はありがとうございました。</p>
--	---